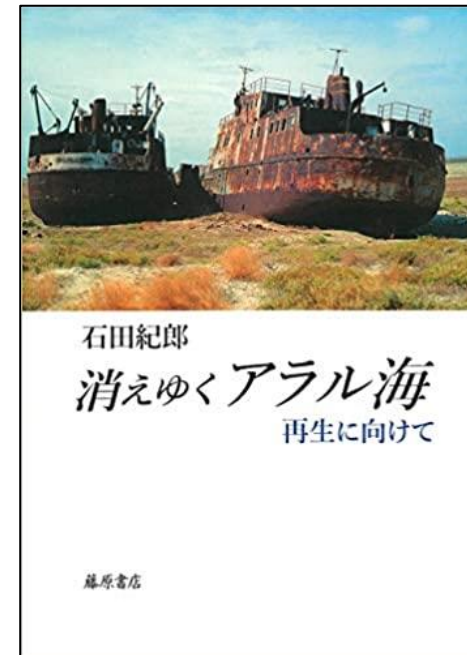
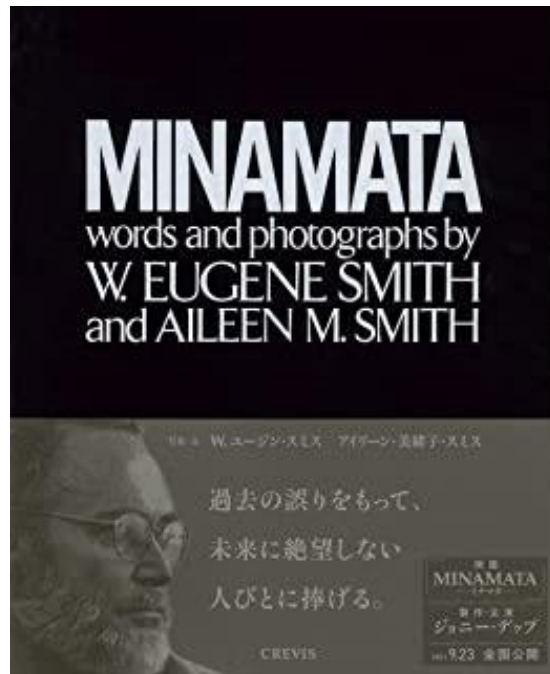


関西グローバルヘルスの集い  
オンラインセミナー第5弾「わたしたちの地球、わたしたちの健康」  
「プラネタリーヘルスという新たな視座」

# 「環境が健康に及ぼした大きなインパクト」

2022年7月7日



中村安秀

公益社団法人日本WHO協会 理事長  
(大阪大学名誉教授・国立看護大学校特任教授)

# 「世界保健デー2022」 (2022年4月7日)

## Our Planet, Our Health (わたしたちの地球、わたしたちの健康)

新型コロナウイルス感染症が教えてくれたこと

- ・ 感染症に国境はない
- ・ 新興感染症が地球規模で大流行する可能性はある
- ・ あまりにも性急にヒトの健康だけを追い続けてきた



79億人の人類だけを対象とした保健医療には限界。  
家畜、野生動物、昆虫、植物など地球上の生き物すべての健康に配慮したうえで、ヒトの健康を考える視点が必要不可欠！



# 気候の危機は健康の危機 (WHO)

WHO (2021年) によると、毎年世界では1,300万人以上の人々が本来ならば避けられる環境要因によって死亡

世界のほぼ全人口 (99%) がWHOの大気質基準値を超える空気を吸っている  
2021年9月、WHOは大気質ガイドラインを16年ぶりに改訂し、特にPM2.5とNO2についてより厳しいものとした。

温暖化した世界

- ・ マラリアやデング熱等を媒介する蚊
- ・ 異常気象、土地の劣化、水不足など
- ・ 汚染物質やプラスチックが食物連鎖に入り込む
- ・ 小さな島々で構成される小島嶼国では気候変動の影響を直接受けやすい

# フィールド・ワーカーとして グローバルヘルスでの個人的体験を経験へと深化する

- ・ 体験を経験に深化させる

森有正（1911-76）『遙かなノートル・ダム』 『旅の空の下で』

- ・ Minamata Diseaseの知名度の高さといまに続く環境問題

1980年代、インドネシアで日本の「環境汚染」研究者を案内

石牟礼道子『苦界浄土』、原田正純『水俣が映す世界』、吉本哲郎『地元学』

- ・ アラル海

世界第4位の湖が消えていく！ 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）で紛争現場を見てきたが、水をめぐる国や地域の熾烈な戦いはすさまじい。

グローバルヘルスでは、失敗から学ぶ（Lessons learned）のが通常

プラネタリーヘルスにおいても、まず歴史上の失敗から謙虚に学ぶ姿勢が必要ではないだろうか？

# 歴史的空間的対話 (グローバルな視点から過去との対話)

中村安秀(2018)『地域保健の原点を探る』を改変

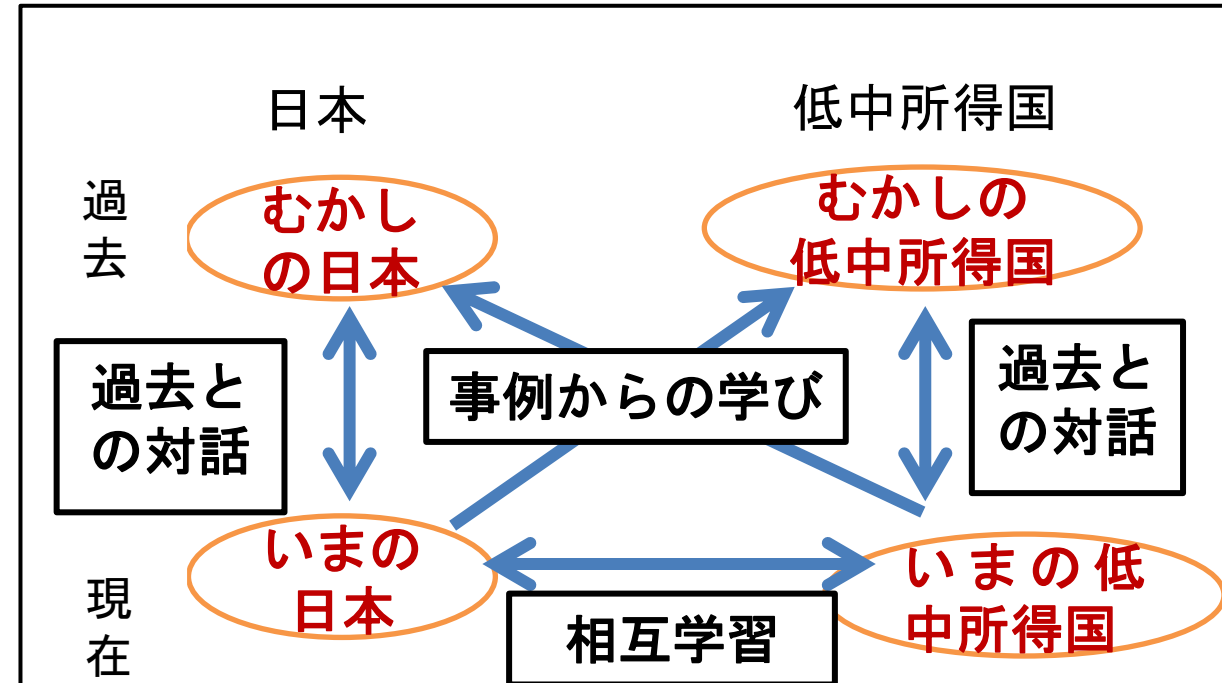
ヘンリー・カー「歴史とは現在と過去との絶え間ない対話である」

縦軸：歴史：過去、現在、そして未来

横軸：グローバル空間：日本、低中所得国

三角測量：過去との対話、事例からの学び、相互学習

不確実な時代ほど、過去との対話と事例からの学びが重要である



未来

未来

# 関西グローバルヘルスの集い(KGH) オンラインセミナー第5弾 「わたしたちの地球、わたしたちの健康」

2022年7月7日(木) 19:00—20:30

## 「環境が健康に及ぼした大きなインパクト」

- ・「アラル海が教えてくれたこと」

橋爪真弘さん

(東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学・教授)

- ・「水俣病から学び続けること」

坂本峰至さん

(国立水俣病総合研究センター・所長特任補佐)



公益社団法人 日本WHO協会  
FRIENDS OF WHO JAPAN

第21回 関西グローバルヘルス (KGH) の集い  
オンラインセミナー第5弾

わたしたちの**地球** わたしたちの**健康**

第2回 **環境が健康に及ぼした**  
**大きなインパクト**

日時: 2022年7月7日(木) 19:00~20:30

✓ YouTubeライブ配信 (1週間の見逃し配信あり)

話題提供

橋爪 真弘 氏 (東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学)

◆ アラル海が教えてくれたこと

坂本 峰至 氏 (国立水俣病総合研究センター)

◆ 水俣病から学び続けること

ミニ・パネルディスカッション

ファシリテーター: 中村 安秀 氏 (日本WHO協会)



～開催の趣旨～

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、世界の保健医療のあり方を根本から揺るがしました。私たちは、あまりにも性急にヒトの健康だけを追い続けてきたのかもかもしれません。感染症に国境はなく、今後も第2、第3のCOVID-19が地球規模で大流行する可能性を考える必要があります。79億人の人類を対象とした保健医療に専心する視座には限界があります。家畜や野生動物、細菌やウイルス、植物といった地球上の生き物すべての健康に配慮したうえで、ヒトの健康を考える視点が不可欠です。

世界保健機関 (WHO) は、2022年の世界保健デー (World Health Day) のテーマを「Our Planet, Our Health (わたしたちの地球、わたしたちの健康)」としました。「世界保健デー」を1日限りのお祭りイベントにせず、地球規模で生きとし生けるものの環境や健康やいのちのことを知り、何が必要かを考え、そして行動してみませんか? オンラインセミナー第5弾では、グローバルヘルスとプラネタリーヘルスの繋がりを考えていきたいと思います!

参加方法

右記QRコードまたは<https://forms.gle/LQVu2n6V9s8fcguW8>からお申込み下さい。後日、YouTubeのリンクをお送りします。

お問い合わせ 関西グローバルヘルスの集い運営委員会  
kansai.gh.tsudoi@gmail.com (メールでお問い合わせ下さい)

